

平成20年4月22日

ぱくぱくネットとよた
島津 朋江 様

豊田市教育委員会保健給食課

日ごろは学校給食についてご理解・ご協力をいただきありがとうございます。
さて、先日依頼がありました照会については、下記のとおりですのでよろしくお願い
します。

【担当】保健給食課 加藤
電話 34-6663

1) 食材の価格値上げ

ニュース等によりますと、春から小麦・油・しょうゆなど食材が相次いで値上げをしており、他の地区では、やむなく給食費を値上げする地区や、月1回給食の回数を減らした地区もあると報道しています。

豊田市ではやはり給食の食材の値上げや影響はありましたか。具体的にはどのようになったのでしょうか。食材調達の方法に変化はあるのでしょうか。現在どのように対応されているのでしょうか。あるいは今後検討していることなどあればお教え下さい。

平成20年度においては、給食費は従来どおりの金額で実施していきます。

現状においては、今回の食材の値上げの影響により大きく変更したことはありません。

ご指摘のとおり、小麦、油、大豆、乳製品を原料とする食材が値上げ傾向にあるのは事実です。ただし、豊田市は元々主食のパンは豊田市産小麦、大豆を原料とする納豆も豊田市産を使用するなど国内産のものを優先的に使用していたため、他の自治体に比べ直接的な影響は少ないと考えています。よって、多少の影響はありますが、現時点においては給食の質を落とさないよう献立の組合せなどを工夫する中で、対応しています。

しかし、今後、動向を見ながら、豊田市においても給食費について検討していきたいと考えています。

2) 中国産冷凍ギョーザ事件

1月におきた「中国産冷凍餃子」事件にともなって、豊田市学校給食で対応されたことがあれば具体的にお教え下さい。

報道にあった該当製品の使用はありませんが、事件に伴い、子どもたちや保護者の方の心情等を考慮し、該当メーカー及びギョーザの使用は見合わせました。

3) 「食の安心・安全」

子どもたちが毎日安心して、おいしく食べられるように、本当にさまざまなことに配慮しながら作って下さっている事に感謝しております。今特に気をつけていること、これから検討、改善の予定などありましたら、教えてください。

・地産地食[※]を推進しています。(※豊田市では独自に地産地食(＝地産地消)といいます。)

ごはんはすべて豊田産米、このお米で作った「米粉パン」、麦を使った「スライスパン」、「中華めん」、大豆を使った「納豆」や「豆腐」、また季節に収穫できる旬の野菜や果物を積極的に取り入れています。

・良質で安全な食品の選定に心がけています。

給食の食材は国内産を優先し、青果物・肉類は国内産を指定して納入しています。ま

た、冷凍・加工食品については栄養士等が味や品質、食材の生産地や配合割合などを確認し選定しています。

4) 「地産地消」

自給率を上げるために、豊田の学校給食で今後できることは、何かありませんか。

あるいは地産地消をさらにすすめるために行ったことや、これから検討されていることがありましたら、お教えてください。

自給率に直接反映するかどうかは、現時点ではわかりませんが、学校給食では食育の観点からも、できるだけ地元の食材を取り入れています。ただし、青果物については天候に左右されることがあり、安定供給が困難という問題もあります。よって、豊田市では現在、収穫量が比較的安定な「米」や「小麦」、「大豆」を使用した品目の拡大を図っています。

豊田市独自の製品を開発し、昨年度は「小麦」を使用した「中華めん」、今年度は「小麦」を使用した「ロールケーキ（中に豊田産イチジクジャムを使用予定）」を実施する予定です。

また、自給率の問題については、需要・供給の両面から関係機関等で検討していく必要があると考えています。

5) 遺伝子組み換え食品

食用とうもろこしの価格高騰で、やむなく遺伝子組み換えとうもろこしを食用に使うメーカーもでてきたという報道がありました。今回の話は学校給食ではありませんが、学校給食でも、利用の可能性はあるのでしょうか。

遺伝子組換え食品については、表示の対象となる食品について規制しています。今後においても、現在の体制を変えないよう、対応していく予定です。